



第3回定例会を開会 補正予算など16議案を可決

平成24年第3回定例会は、9月13日に開会し、市長提議議案15件、議員提議議案4件について慎重に審査しました。

この結果、決算認定2件及び議案第54号「平成23年度門真市水道事業剰余金の処分について」は、その重要性に鑑み、決算特別委員会を設置して閉会中の継続審査を付託し、その他の案件については、原案のとおり可決並びに同意し、9月26日に閉会しました。

平成24年度門真市一般会計補正予算(第3号)は、既定の歳入歳出予算にそれぞれ1億3040万1000円を追加し、予算総額を582億7443万3000円とするもので、本案は関係各常任委員会に分割付託し、慎重に審査しました。

門真市
イメージ
キャラクター
元祖招き猫
「ガラスケ」



民生常任委員会では、イメージキャラクター活用事業として着ぐるみ等の経費が計上されていることから、本市の数多くの民話の中から、「おすまさんと笑い猫」に登場する猫の「ガラスケ」をイメージキャラクターに決定した理由をたじたところ、本市の独自性がある事項について広く市内外にPRし、本市のイメージアップにつながる施策の検討を目的に、23年度に市長をトップとした庁内会議を開催し、議論を重ねた結果、「ガラスケ」が招き猫のルーツとされ話題性があること、また市民になじみのある猫をモデルにすることで、愛着を持ってもらえるとの考えから、決定したとの

ことでした。

次に、「ガラスケ」の全庁横断的な取り組みについてたじたところ、庁内での活用としてまちづくり課が「ガラスケ」のコミュニティバスへのラッピング、市民課と保険年金課がポスターへの掲載などを予定しており、今後は、自転車のひたくり防止カバーやチラシ等への掲載、職員が作成する名刺への掲載の呼びかけも考えている。

また、「ガラスケ」の着ぐるみは、11月3日開催の地域伝統文化まつりでのお披露目を予定しているとのことでした。

なお、担当部局としては、全庁的に「ガラスケ」をイメージアップしようとする気運の高まりが継続されるよう、さまざまな会議の場や庁内LANを通して、各部局に強く働きかけ、誰もが門真市と言えば「ガラスケ」を連想するよう、全庁横断的な取り組みを推進していきたいとのことでした。

障がい者虐待防止 相談窓口を開設

次に、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が24年10月1日から施行されることに伴い、対応する窓口をたじたところ、障がい福祉課内に障がい者虐待防止センター機能を有する障がい者虐待防止相談窓口を開設し、虐待を受けた本人や虐待を発見した者等からの通報や相談に速やかに対応していくとともに、聴覚障がい者からの通報等の対応として、FAXでの受け付け体制も整えているとのことでした。

次に、通報等を受けた後の対応をたじたところ、関係機関や市民からの障がい者虐待に関する通報等をもとに、関係機関から情報収集を行い、同課内に設置する個別ケース会議において初動対応を検討の上、訪問調査等による事実確認を行い、虐待事案に対する当面の支援方針を決定するとともに、状況に応じてモニタリングを行うとのことでした。

なお、障がい者の生命や身体にかかわる危険性が高く、放置しておくと重大な結果を招くおそれる予測される場合は、障がい者を一時保護するため、本市内で2カ所、市外で1カ所ある一時保護の受入施設において、養護者等から分離する手段を実施するとのことでした。

自治基本条例制定に向け 機運を高める取り組みを実施

総務水道常任委員会では、自治基本条例制定事業に係る経費が計上されていることから、市民説明会等の実施状況と当初予定していた今定例会への同条例案提出を見送った経緯をたじたところ、事前に地域で活躍中の各種29団体345名に周知や説明を行った後、6月に市内全14小学校で説明会を開催し、延べ285名に説明を行い、また同月にパブリックコメントを実施した。これらの結果を踏まえ、(仮称)門真市自治基本条例制定検討委員会、今後の進め方を検討した結果、同条例についてのさらなる周知を行い、制定に向けた機運を高めていく期間が必要であると判断し、見送ることとなったとのことでした。

次に、同条例制定に向けた今後のスケジュールをたじたところ、現段階では、遅くとも25年度中を目標に、制定の機運を高める取り組みを進めていくことを考えており、この間、協働によるまちづくりに対する市民の関心を高めるため、同条例について地域での説明の実施に加

議会のあゆみ (平成24年8月1日～10月30日)

- | | | | |
|-----|---------------------|------|---------------|
| 8・3 | 大阪中央環状モノレール建設促進議会総会 | 18 | 建設文教常任委員会 |
| 10 | 大阪府市議会議長会理事会 | 19 | 議会運営委員会 |
| 24 | 大阪府市議会議長会総会・正副議長研修会 | 20 | 総務水道常任委員会 |
| 25 | 第6回門真市子ども議会 | 25 | 本会議 |
| 9・3 | 淀川左岸治水促進期成同盟総会 | 26 | 本会議(第3回定例会閉会) |
| 6 | 議会運営委員会 | 10・5 | 決算特別委員会 |
| 13 | 議会運営委員会 | 22 | 決算特別委員会 |
| | 本会議(第3回定例会開会) | 25 | 決算特別委員会 |
| 14 | 民生常任委員会 | 26 | 近畿市議会議長会理事会 |

した。次に、市民大学も含めた今後の事業展開をたじたところ、今回、事業を計画する中で、さまざまな先進市の取り組みを検証したところ、協働の担い手となる人材を育成するためには、市民大学などの取り組みが非常に効果的であることから、本市においても、協働の担い手づくりのため、市民大学の実施を検討していきたいとのことでした。本案は、本会議において全員異議なく可決しました。

一般質問

9月25日、26日の本会議において、17名の議員が市政に対する質問を行いました。
主な質問と答弁の要旨を掲載しています。(通告順)

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページ (<http://www.city.kadoma.osaka.jp/shigikai/>) 及び各議員のホームページをごらんください。
※ 第3回定例会の会議録は12月初旬に掲載する予定です。



日高 哲生
(門真市民クラブ)

財政状況と今後の見通し

問 今後のまちづくりと財政健全化の両立を図ることは、大きな課題だが、さまざまな状況を踏まえた上で、現在の本市の財政状況と今後の財政の見通しは、

答 本市の財政状況は、23年度決算で一般会計の実質収支が1億1000万円の黒字、財政運営の課題である国保特別

会計の累積赤字が17年度の50億6300万円に対し、23年度は39億5500万円と改善し、その結果、23年度の連結実質赤字比率は6・16%と前年度より2・38ポイント改善している。

今後の見通しは、17年度以降の2次にわたる行財政改革推進計画に基づき、財政健全化に努めた結果、200億円を超える効果を生み出しており、今後も絶え間ない行財政改革による財政再建と、新たなまちづくりの投資である市政の再生の相乗的な効果で、今後も健全な財政運営が実現可能と考える。



高橋 嘉子
(公明党)

集中豪雨の浸水対策について

問 本市では、今年度4度にわたって集中豪雨があったが、8月14日の集中豪雨による本市の被害状況は、

答 同日早朝の集中豪雨では、1時間当たり91・5mmの激しい降雨があり、8月末現在、250棟の床下浸水被害と、延べ2万7000件の停電があった。

問 今後の浸水対策は、

答 府が寝屋川流域総合治水対策事業の一環として築造している地下河川が、27年度の供用に向け施工中で、完成後は20万トンの貯留施設として暫定供用する予定である。また、府流域下水道事業でも、府道八尾枚方線下に埋設中の大東門真増補幹線が、25年度のできるだけ早期に貯留施設として暫定供用する予定であり、本市東部地区の浸水被害の早期軽減に効果があると考えている。さらに、学校の校庭貯留や効果的な対策の模索等も含めて検討していく。



亀井 淳
(日本共産党)

8・14ゲリラ豪雨被害状況と今後の浸水対策について

問 8月14日のゲリラ豪雨による被害の状況及び今後の浸水対策についてどうするか。

答 被害状況は浸水世帯、道路冠水を含め市域全体の約2・5%。今後の対策として、市広報紙に具体的な浸水対応策の掲載を検討し、水防訓練は、今後

の具体化も含め調査研究。市域全体の降雨状況把握のため、雨量計の増設を検討。計画中の市役所横の防災機能を有する公園や一中跡地の交流広場の地下に、雨水貯留槽等を設置予定である。

問 浸水被害市民が大変なときに市長は夏休み

答 浸水から20日まで登庁しなかった。市民が浸水被害に遭い困っているとき、休暇先から連絡を取り、適切に対応すればそれでよいのか？

答 今後も、状況に応じ、適切に対応する。



福田 英彦
(日本共産党)

職員の意欲をなくし、市民サービス低下につながる新たな人事評価制度の問題点について

問 新たな人事評価制度は、部局ごとに相対評価することから同じ点数でもB、Cとランクが異なり、昇給に影響し、生涯賃金への影響は大となる。また、評価者は膨大な業務が課せられ、日常業務の弊害となる。民間で

も見直し、導入自治体でも失敗している制度導入は取りやめべきと考えるがどうか。

答 相対化により指摘の可能性はあるが、評価結果を分析・検討し、慎重に処遇反映したい。生涯賃金への影響もあることは認識しているが、S評価や昇格など回復の機会はあるものと考え、業務への影響は一定の負担は発生するものの、評価の過程を通じ、業務の効率アップにつながるかと考える。他の自治体では制度の見直しや廃止事例も報告されている。「努力が報われる制度」に向けてベターと判断した。



内海 武寿
(公明党)

視覚障がい者施策について

問 同行援護事業のサービスの内容の把握と本市の指導体制は、

答 開設認可権限は府であり、利用に際しては、利用者と事業者との契約締結による。本市としては、利用に関する相談に円滑な利用を図れるよう努める。

問 古川橋駅南側の誘導ブロック上の駐輪自転車等への対策は、

答 誘導ブロックの敷設位置の再検討など、柔軟に対応する。福祉避難所の進捗状況は、特養施設長連絡会と協議中。

問 マルチメディアデジ教科書※の活用は、

答 同教科書の活用を検討し、個に応じた指導を一層進める。校舎や体育館の非構造部材の耐震化と改修工事は、

答 五月田小学校の大規模改造時では、非構造部材を初め、建物全体の安全対策を講ずる。

※テキストを画面に表示しながら、音声で読み上げる教科書



武田 朋久
(公明党)

市役所の労働環境等について

問 職員が業務へのモチベーションを維持するための現在の労働環境は、また、窓口での混雑時等の市民のマイナス感情軽減や、子どもを楽しませるための庁内環境整備の考えは、

答 若手や女性の登用、府への派遣研修など職場外研修の充実で、人材の積極的な活用と育成

を図り、職場での議論を活性化し、職員が絶えずチャレンジできる環境整備を進め、また、メンタルヘルスの充実など、モチベーション維持・向上に努めている。同整備は、BGMの放送や観葉植物の設置等に加え、キッズコーナー設置の体制整備とスペースの確保などを検討する。

問 インクルーシブ教育※システムと児童発達支援センターの連携について

答 今後の連携のあり方は、

答 市障がい児施策検討委員会や児童専門会議で鋭意検討する。

※障がいの有無によらず、誰もが地域の学校で学べる教育



春田 清子
(公明党)

ワンストップ総合窓口事業について

問 転入・転出等の市民課の手續に伴い発生する複数課での手續を、市民課1カ所の窓口で行うことができるワンストップ総合窓口事業の導入の考えは、

答 窓口業務の効率化や経常経費の削減に期待できる。費用対効果も踏まえ、調査研究を行う。

問 転入・転出等の市民課の手續に伴い発生する複数課での手續を、市民課1カ所の窓口で行うことができるワンストップ総合窓口事業の導入の考えは、

答 窓口業務の効率化や経常経費の削減に期待できる。費用対効果も踏まえ、調査研究を行う。

問 太陽光発電システムのさらなる推進について

答 合同会社等を設立し、官民一体で太陽光発電システムの導入を図り、また、売電目的で公共施設に設置することについても見解を伺う。

問 本市で導入が図られるのか調査研究していきたい。

答 がん検診の受診率向上は。無料クーポン券制度は有効である。効果的に情報を発信し、周知方法の充実を図る。



井上 まり子
(日本共産党)

児童発達支援センターについて

問 障がい児施設「さつき園・くすのき園」が同センターとして、2014年度、門真市民プラザで開設予定であるが、運営や立地も含め、十分に検討を、

答 同センターはバリアフリーで、福祉対応型エレベーターや現状より充実した園庭の設置等、移動面・安全面・支援面にも配

慮した設計を考えている。医務室も設け、嘱託医によるサポート体制の確保を図り、現状のサービスを維持した3障がい対応のセンターとして整備する。相談支援事業等は受給者証がなくても18才までの障がい児を対象に係機と連携し取り組む。

問 「医療費だけでも何とかしつづ」市民の切実な声に

答 窓口での一部負担金の免除等ができる国民健康保険法の一部負担金免除制度の拡充などを、拡充は困難。本市が実施中の現制度の周知を図っていく。



戸田 久和
(無所属)

一部の「問題自治会」の例とその改善について

問 自治会で社会福祉協会の寄付集めをしたが、社協に金が渡っていないとか、役員が自治会会計を私的に流用・独断で特別会計を設置し運営規則もない・独断で目的外支出をするなどの場合、刑法・民法のどういう部分に抵触する恐れがあるか？

答 一般的に考えれば、刑法の横領罪、窃盗罪、民法上の不法行為等に抵触する可能性のあるものもあると考える。

問 不正行為の通報があれば自治会に調査を行べきでは？

答 補助金等、市に関する問題の場合は、調査し解決を図る。

問 中央小解体工事での金川建設の不正疑惑について

問 市への提出書類の内容偽造は刑法等によって抵触するか？

答 刑法の有印私文書偽造や門真市の要綱の「虚偽記載及び法令等違反」に抵触する恐れがある。



平岡 久美子
(公明党)

防災について

問 災害時に備え、これまでも提案してきたが、より多くの民間企業との協定は、また、防災啓発用のDVDの活用は、

答 協定は交わっていないが、地域防災計画の見直しの中、垂直避難所、備蓄品の分散等民間企業との連携を検討している。防災啓発用のDVDは自治会

問 明年の市政施行50周年記念事業においては、公民協働、門真市歌の日常的活用、現在所有のビデオなどの資産活用は、

答 市民参加型の記念事業とし、市歌を初め、市有資産の活用をしながら記念事業を行うことは、大変有意義なことであり、全庁挙げて進めていきたい。

問 市政施行50周年記念事業について

問 明年の市政施行50周年記念事業においては、公民協働、門真市歌の日常的活用、現在所有のビデオなどの資産活用は、

答 市民参加型の記念事業とし、市歌を初め、市有資産の活用をしながら記念事業を行うことは、大変有意義なことであり、全庁挙げて進めていきたい。



中道 茂
(自由民主党新大阪クラブ)

高齢者向け住宅について

問 超高齢化社会を背景に介護サービスの需要は、ますます高まっているが、介護施設の整備についての見解は、

答 くすのき広域連合において、介護サービスの安定的供給のため第5期介護保険事業計画を策定し、介護施設の計画的な整備が図られるように努めていく。

問 高齢者の居住の安定確保に関する法律が改正され、創設された新たな登録制度のサービスつき高齢者向け住宅の概要は、

答 同住宅については、住宅・サービス・契約に関する基準が明確に示され、サービス部分についての報告義務、立入検査、指示等の行政指導が強化されている。また、国においては、建設・改修費に対する補助事業の創設、税の優遇の適用、府においては、家賃減額補助制度が創設されている。

平成24年11月1日

問 全国でも少人数学級を実施し、落ち着いたきめ細やかな指導ができている等多くの成果が出ている中で、9月7日、文科省が来年度からの5年間で教職員をふやす「定数改善計画案」を発表したが、本市としてどう受け止めているのか。

答 教員が子どもたち一人一人

少人数学級について



豊北 裕子
(日本共産党)

問 大阪府がモノレール南伸計画を決定し、実現すると同駅の利用者が増えると考えられるが、同駅の再開発と新橋住宅の建てかえへの見解は。

答 同駅周辺の再開発等の必要性は認識している。新橋住宅については、入居者の意向を十分に聞きながら、できる限り早期に非現地建てかえ等の協議を進め、門真プラザについては、各権利者と再開発等の必要性の検討及び協議を続け、まちの玄関として、集い、にぎわう同駅前再生の実現に努めていく。

門真市駅前の再開発と新橋住宅の建てかえについて



五味 聖二
(緑風クラブ)

問 幸福度ランキングなどを参考に一定項目を定め、その項目の向上改善に市民全体を巻き込んだ取り組みなどが重要だと考えるが、本市の具体的な施策は、数値化して公表すること、目標設定を行う上で有効な

誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりにについて



大倉 基文
(緑風クラブ)

問 国の実施を待たず、本市独自の少人数学級の実施とポスター学級の解消を求めるが、見解は。

答 今年度、子どもたちの学力課題の解決を図るために設置した「門真市学力向上対策委員会」での議論を踏まえ、今後示される具体的提言に基づき検討していく。

に目が行き届き、きめ細やかな指導を行うために、国に対し、従来より35人学級の充実を要望してきており、本市としても、今回の「定数改善計画案」の実現を強く求める。

問 同公園内にある旧養護老人ホーム用地を、計画が決まるまでの間、広場やアスレチック場などに有効活用する考えは。

答 より使い勝手がよく、景観やにぎわいのあるまちへとつながるよう検討していく。

弁天池公園について

問 再生可能エネルギーを活用したスマートグリッド導入など環境配慮型スマートコミュニティとしていくべきと考えるが、市の見解は。

答 現実的で実効性のあるまちづくりに関して協議・検討するため、府とまちづくり会議を設置した。今後、スマートコミュニティ実現に向けた要望も同会議で行っていく。

問 再生可能エネルギーを活用したスマートグリッド導入など環境配慮型スマートコミュニティとしていくべきと考えるが、市の見解は。

答 現実的で実効性のあるまちづくりに関して協議・検討するため、府とまちづくり会議を設置した。今後、スマートコミュニティ実現に向けた要望も同会議で行っていく。

府営門真住宅の建てかえと今後のまちづくりについて

問 コミュニティ活性化と住民福祉に配慮した施設整備は地域に新たな活力を創出する効果が期待されるが、市の見解は。

答 地域福祉活性化のための活動拠点、情報発信及びコミュニケーションを図る場所としてのふれあいリビングや、MAIハウス（車椅子常利用者世帯向け住宅）の設置を要望していく。

問 人口減少に伴う税収減少の対策について

答 同提案は、新たな歳入確保及び災害時の避難所などの非常



木津 英之
(門真市民クラブ)

問 近隣市が持つ施設を利用しやすいように、市民に情報提供するとともに、市民に情報提供する上で、ケーブルテレビの活用も必要と考えるが、市の見解は。

答 本市が近隣市とアクセスしやすいことは大きなメリットであり、近隣市の公共施設等の情報を市民に提供することは、利

市民のための広報について



土山 重樹
(自由民主党新政クラブ)

問 再生可能エネルギーを活用したスマートグリッド導入など環境配慮型スマートコミュニティとしていくべきと考えるが、市の見解は。

答 現実的で実効性のあるまちづくりに関して協議・検討するため、府とまちづくり会議を設置した。今後、スマートコミュニティ実現に向けた要望も同会議で行っていく。

府営門真住宅の建てかえと今後のまちづくりについて

問 コミュニティ活性化と住民福祉に配慮した施設整備は地域に新たな活力を創出する効果が期待されるが、市の見解は。

答 地域福祉活性化のための活動拠点、情報発信及びコミュニケーションを図る場所としてのふれあいリビングや、MAIハウス（車椅子常利用者世帯向け住宅）の設置を要望していく。

問 人口減少に伴う税収減少の対策について

答 同提案は、新たな歳入確保及び災害時の避難所などの非常

用電源として可能性が期待されるが、公共施設の老朽化等の構造上の問題等にも配慮し、慎重に検討していく。

問 近隣市が持つ施設を利用しやすいように、市民に情報提供するとともに、市民に情報提供する上で、ケーブルテレビの活用も必要と考えるが、市の見解は。

答 本市が近隣市とアクセスしやすいことは大きなメリットであり、近隣市の公共施設等の情報を市民に提供することは、利

市民のための広報について

問 再生可能エネルギーを活用したスマートグリッド導入など環境配慮型スマートコミュニティとしていくべきと考えるが、市の見解は。

答 現実的で実効性のあるまちづくりに関して協議・検討するため、府とまちづくり会議を設置した。今後、スマートコミュニティ実現に向けた要望も同会議で行っていく。

問 コミュニティ活性化と住民福祉に配慮した施設整備は地域に新たな活力を創出する効果が期待されるが、市の見解は。

答 地域福祉活性化のための活動拠点、情報発信及びコミュニケーションを図る場所としてのふれあいリビングや、MAIハウス（車椅子常利用者世帯向け住宅）の設置を要望していく。

府営門真住宅の建てかえと今後のまちづくりについて

問 コミュニティ活性化と住民福祉に配慮した施設整備は地域に新たな活力を創出する効果が期待されるが、市の見解は。

答 地域福祉活性化のための活動拠点、情報発信及びコミュニケーションを図る場所としてのふれあいリビングや、MAIハウス（車椅子常利用者世帯向け住宅）の設置を要望していく。

■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

日高 哲生（門真市民クラブ）

- 本市の財政状況及び今後の財政の見通しについて
- 行財政運営の考え方、方向性について

高橋 嘉子（公明党）

- 集中豪雨による浸水対策について
- 最近の集中豪雨の被害状況について
- 被災者への門真市の対応について
- 今後の浸水対策について

亀井 淳（日本共産党）

- 8月14日に発生したゲリラ豪雨による被害の現状と対応及び今後の対策について
- 被害の概要と対応について
- 教訓と課題について
- 今後の浸水対策に関しての提案について
- 市長は、ゲリラ豪雨浸水被害発生時、どこで知って、どのようにリーダーシップを発揮したかについて

福田 英彦（日本共産党）

- 新たな人事評価制度の導入について
- 職員の意欲をなくし、市民サービス低下につながる相対評価・処遇反映の問題点の認識について
- 民間でも見直し、導入自治体でも失敗している制度の導入を取りやめることについて

内海 武寿（公明党）

- 視覚障がい者施策について
- 同行援護事業について
- 視覚障がい者誘導用ブロックの適正敷設について
- 誘導ブロック上の駐輪などの対策について
- 横断歩道上への特殊誘導ブロックの敷設について
- 音響装置付信号機の適正設置について
- 音響装置付信号機の設置要望の認識について
- 音響装置付信号機の設置要望に対しての本市の対応について
- 災害時における要援護者に対するマニュアルづくりについて
- 「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」の認識について
- 全庁にわたる要援護者支援マニュアルの必要性の認識について
- 要援護者支援マニュアルを避難所施設や福祉施設、事業所、地域自治会などに早急に配付することについて
- 福祉避難所について
- 学校教育環境の向上について
- ICT教育（情報通信教育）の導入について
- マルチメディアディジー教科書の活用について
- ICT機器を扱うICT支援員とコーディネーターの確保について
- 校庭、校舎、体育館の整備について
- 校庭の芝生化の評価と今後の拡充について
- 大規模改修時における非構造部材の耐震化の優先順位について

武田 朋久（公明党）

- 公民協働と市民サービス向上への包括的取り組みについて
- 市役所における労働環境と環境コーディネート

- 防災に係る市民の利便性向上について
- 行政におけるアンケート調査の妥当性について
- 民生委員制度について
- 大阪国際学園との包括連携協定の今後の展望について
- 門真市における教育と福祉の連携について
- インクルーシブ教育システムと児童発達支援センターの有機的な連携を模索することについて
- 就学援助と放課後児童クラブの関連について

春田 清子（公明党）

- ワンストップ総合窓口事業について
- 本市での導入について
- 太陽光発電システムのさらなる推進について
- 官民一体での太陽光発電の導入について
- がん対策について
- がん検診の受診率向上について

井上まり子（日本共産党）

- 門真市児童発達支援センターについて
- 障がい児施設「さつき園・くすのき園」を「市民プラザ」へ移転するとなっているが、療育にふさわしい場所と運営方法を検討し、十分な検討期間を設け、保護者や関係機関の意見を十分に聞くことについて
- 診療所の必要性について
- 発達障がい児の十分な受け入れ体制について
- 国民健康保険制度について
- 病院的窓口で支払う医療費一部負担金免除制度について

戸田 久和（無所属）

- 一部の「問題自治会」の例とその改善について
- 実情把握や自治会活動ハンドブック作成はどうかについて
- 自治会費の目的外使用と「背任」・「横領」との関係について
- 不正通報があった場合、市が調査解明せずに補助金交付をしてよいかについて
- 議会無視の現業全部門民営化「素案」について
- これほど重大な「素案」を議員には全く知らせずに、1月から労組に提示していることについて
- 8月水害と事後の事務処理で露呈した「市職員削減による弊害」について
- 「素案」の内容・論理・作成過程を至急に議員に明らかにして意見を求めるべきことについて
- 情報公開制度や思考の停滞と議会情報開示阻害について
- 録音テープ等をいまだに開示対象にしない市の怠慢が、議会情報開示を阻害してきた大要因であることについて
- 一部議員が、公共物たる議事テープや市所有の答弁原稿までも私物視するに等しい開示妨害をしていることと市の関係について
- 議会側の開示不熱心によって市が負われる労力費用や提訴リスクについて
- 中央小解体工事での元請金川建設らの不正疑惑について

- 金川建設が2人の男に脅されて2次下請に参入させ、不当利得を上げさせたことについて
- 「糸さん事件」裁判で金川建設営業部長が不当利得提供に関して数々証言していることについて
- 至急に金川建設らを調査・入札排除すべきことについて
- 不正通報があった場合の実効的な対処策と所管部署の判断責任について

平岡久美子（公明党）

- 防災について
- 災害時における民間企業との協定について
- 情報伝達について
- 防災教育について
- 門真市幼児教育基本計画について
- 市立幼稚園の統合について
- 認定こども園について
- 市制施行50周年記念事業について
- 中道 茂（自由民主党新政クラブ）
- 高齢者向けの住宅について
- 急速な高齢化に伴う介護施設について
- 高齢者専用賃貸住宅について

大倉 基文（緑風クラブ）

- 誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりについて
- 具体的な施策について
- 魅力と活力あるまちづくりについて
- 第5次総合計画及び都市計画マスタープランの施策の進捗状況とPDCAサイクルは図られているのかについて
- 市のイメージにもつながる公共施設の建設について
- 中部まちづくり整備ゾーンの今後と弁天池公園のあり方について
- 大阪府のモノレール南伸に伴い、門真市駅前の再開発と新橋住宅の建てかえについて
- 人口をふやすための本市の取り組みについて

豊北 裕子（日本共産党）

- 教育について
- 少人数学級について
- 岡本 宗城（公明党）
- 府営門真住宅の建てかえと今後のまちづくりについて
- スマートコミュニティについて
- コミュニティ活性化と住民福祉に配慮した施設整備について
- 中部まちづくり整備ゾーンの計画的整備について
- 国からの財政援助について
- 土山 重樹（自由民主党新政クラブ）
- 市民のための広報について
- 近隣市との連携について

木津 英之（門真市民クラブ）

- 人口減少に伴う税収減少の対策（収入をふやすための方法）について
- 短期的な対策について
- 中長期的な対策について

平成23年度決算額一覧表

区 分		(単位：千円)				
会計名		歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支
一 般 会 計		52,326,084	52,180,563	145,521	35,237	110,284
特 別 会 計	国民健康保険事業	17,058,767	21,014,141	△3,955,374	0	△3,955,374
	公共下水道事業	4,832,229	4,661,932	170,297	0	170,297
	都市開発資金	0	0	0	0	0
	公共用地先行取得事業	791,409	791,409	0	0	0
	後期高齢者医療事業	1,068,966	1,017,996	50,970	0	50,970
合 計		76,077,455	79,666,041	△3,588,586	35,237	△3,623,823

門真市災害見舞金等支給条例の一部改正については、災害見舞金の支給額を、全焼、全壊の場合、複数世帯では2万円から3万円に、単身世帯では1万円から2万円に、半焼、半壊、床上浸水の場合、複数世帯では1万円から2万円に、単身世帯では5000円から1万円に増額し、制度のより一層の充実を図るため提案されたものです。

審査の付託を受けた総務水道常任委員会では、改正の経緯をたざしたところ、床上浸水の見舞金は、制度化した昭和43年は20000円で、49年には複数世帯50000円、単身世帯30000円に、57年には複数世帯1万円、単身世帯50000円に見直しを行った。その後、30年が経過し、社会情勢が変化中、北河内各市の状況も考慮

集中豪雨による床上浸水など 災害見舞金を増額

岡本 宗城
大倉 基文
木津 英之
高橋 嘉子
土山 重樹
田伏 幹夫
鳥谷 信彦
福島 彦彦

(議席順)

決算 特別委員会設置

今回の定例会に提案された平成23年度の門真市歳入歳出決算(上記一覧表のとおり)認定、水道事業剰余金の処分及び水道事業会計決算認定については、審査の慎重を期すため、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査を付託しました。
委員8名の氏名は、次のとおりです。

旧第六中学校仮庁舎改修工事
請負契約の締結
契約の方法 一般競争入札
契約金額 3億1266万9000円
工 期 議決の日から
平成25年3月31日

門真市民プラザ1期耐震補強
工事及び青少年活動センター、
市民公益活動支援センター等

契約案件2件を可決

改修工事請負契約の締結

契約の方法 一般競争入札
契約金額 2億7509万4750円
工 期 議決の日から
平成25年2月28日

これらの2議案は、総務水道常任委員会審査の上、本会議において全員異議なく可決しました。

門真市常称寺町27番16号
磯 和 均
桜井 智恵子
堺市北区中百舌鳥町
1丁63番地27
阪上 周一郎
人権擁護委員候補者の推薦
門真市野里町27番16号

人事案件に同意

次の3件の人事案件は、任期満了などに伴い提案されたもので、いずれも任命等に同意しました。

教育委員会委員の任命

香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書

意見書を可決

李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓国外交の見直しを求める意見書

中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書

脱法ドラッグとりわけ脱法ハーブに対する早急な規制強化等を求める意見書

第3回定例会で審議された案件と議決結果

議案名		会派名 議員名	公 明 党						日本共産党				緑風クラブ			自由民主党 新政クラブ			門真市民 クラブ			無所属 戸田 久和	議 決 結 果	
			武田 朋久	岡本 宗城	内海 武寿	高橋 嘉子	春田 清子	平岡久 美子	鳥谷 信夫	豊北 裕子	井上まり 子	福田 英彦	亀井 淳	大倉 基文	五味 聖二	今田 哲哉	吉水 丈晴	中道 茂	土山 重樹	佐藤 親太	木津 英之			田伏 幹夫
報 告	門真市土地開発公社の経営状況について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要	
条 例	門真市災害対策本部条例の一部改正について／門真市立学校設置条例等の一部改正について／門真市災害見舞金等支給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
その他の 議 案	旧第六中学校仮庁舎改修工事請負契約の締結について／門真市民プラザ1期耐震補強工事及び青少年活動センター、市民公益活動支援センター等改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	（議長につき、採決に参加なし）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
補正予算	平成24年度門真市一般会計補正予算（第3号）／平成24年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）／平成24年度門真市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）／平成24年度門真市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	教育委員会委員（桜井智恵子 氏）の任命について／人権擁護委員候補者（阪上周一郎 氏）の推薦について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	教育委員会委員（磯和均 氏）の任命について	○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	同意
決算案件	平成23年度門真市水道事業剰余金の処分について／平成23年度門真市歳入歳出決算認定について／平成23年度門真市水道事業会計決算認定について	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続審査
議員提出 議 案	中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書／脱法ドラッグとりわけ脱法ハーブに対する早急な規制強化等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書／李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓国外交の見直しを求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	

※表の見方 ○は賛成、×は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。